

経営安定資金（売上・粗利率減少） 資格申告書

年 月 日

横浜市信用保証協会会長

住 所

企 業 名

(TEL E-mail)

代 表 者

横浜市中心企業融資制度「経営安定資金」の利用申込にあたり、以下の通り融資対象者の要件に該当することを申告します。

1 売上高、粗利率の減少 ※ (1) 又は (2) のいずれかを記載してください。

(1) 最近3か月又は6か月の売上高の推移等 (売上高減少)

最近3か月又は6か月の純売上高	前年同期(又は2、3、4若しくは5年前) の純売上高	売上の減少率 (②-①) ÷ ② × 100
年 月～ 年 月	年 月～ 年 月	
① 千円	② 千円	% (少数点第2位を四捨五入)

(2) 最近3か月又は6か月の粗利率 (売上高総利益率) の推移 (粗利率減少)

最近3か月又は6か月の売上高総利益率	前年同期(又は2、3、4若しくは5年前) の純売上高	粗利率の減少率 (②-①) ÷ ② × 100
年 月～ 年 月	年 月～ 年 月	
売上総利益 (A) 千円	売上総利益 (C) 千円	% (少数点第2位を四捨五入)
売 上 高 (B) 千円	売 上 高 (D) 千円	
① (A) ÷ (B) × 100 = % (少数点第2位を四捨五入)	② (C) ÷ (D) × 100 = % (少数点第2位を四捨五入)	

* 対象月の月別試算表 (損益計算書) を添付してください。

* 1 (1) 又は (2) の最近3か月又は6か月には、申告月の前々月を必ず入れてください。

(例) 最近3か月 【12月・1月・2月】 もしくは 【1月・2月・3月】
4月に申告 最近6か月 【9月・10月・11月・12月・1月・2月】 もしくは 【10月、11月、12月、1月、2月、3月】

(注) 1 融資を受けるためには、融資申込後に所定の審査があります。
2 この資格申告書の内容に虚偽等があった場合には、融資が受けられないことがあります。

売 上 高 明 細 内 訳 書（売上高の減少）

（ 年 月 ～ 年 月分）

- ◎ 試算表（損益計算書）を提出できない場合、この様式に記入すること。
- ◎ 記入方法
 - ・原則、売上台帳の内容を転記すること。
 - ・月ごとの商品別・相手先別での記入も可とする。

申告者名		
月	売上額（単位：千円）	販売先・受注先・商品等
合計（純売上高）		

◎ 試算表（損益計算書を提出できない理由）（該当事項に○）

- ・ 在庫の管理を毎月は行っていない等で、売上の管理はしているが試算表を月別に作成できない。
- ・ 試算表の作成が、融資を受けたい時期に間に合わない。
- ・ その他（)

